

227系0番台 RedWing

KATO **N**
PRECISION RAILROAD MODELS

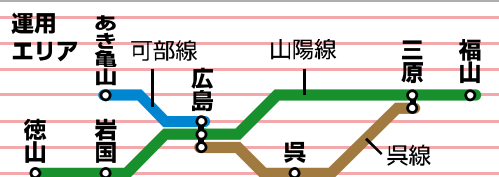
227系は、平成27年（2015）から投入が開始され、225系などで採用された安全性向上設計を盛り込んだ「Red Wing（レッドウイング）」の愛称を持つ広島地区向けの新形車両です。広島県の県木である「もみじ」や厳島神社の大鳥居などにちなみ、赤色のアクセントカラーが用いられています。平成31年（2019）春のダイヤ改正で広島地区の定期列車すべてが227系に統一されました。

3両編成と2両編成の組み合わせで最大8両編成まで、同地区の輸送実態に合わせた柔軟な組成・運用に対応しています。山陽線（福山～徳山間）、呉線、可部線で運用されており、各線相互の直通運転にも活躍しています。



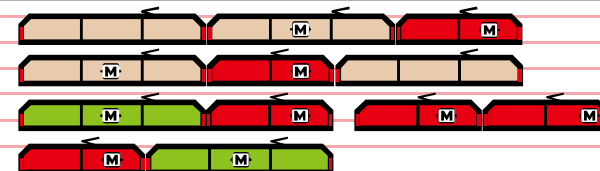
写真：ポポンデッタ広島サンモール店（峯拓都）

広島エリアの
未来へ羽ばたく赤い翼



セット構成・編成例

6両セット (特別企画品)	クモハ 226-41	モハ 226-41	クモハ 227-41	クモハ 226-36	モハ 226-36	クモハ 227-36
3両セット	クモハ 226-39	モハ 226-39	クモハ 227-39	クモハ 226-80	クモハ 227-80	



3両編成と2両編成を組み合わせ、最大8両で運転される姿を再現しよう。

製品のポイント

- ・「JR CITY HIROSHIMA NETWORK」などの各種ロゴを美しく再現
- ・全セット車番を印刷済み
- ・ステンレス車体の銀色を美しく再現
- ・6両セットのブックケースには2両セットの内容を収納可能

広島地区の鉄道シーンを再現しよう



EF210 100番台
シングルアームパンタグラフ



N700A新幹線「のぞみ」